

広報佐野日大

# SANONICHIDA*i* vol. 240 2025.3.1



卒業おめでとう!

## TOPICS

- ・【卒業式にあたって】校長 お祝いの言葉
- ・【ひかり輝る 佐日旋風】部活動の活躍
- ・【学校生活】研修旅行
- ・【創立60周年記念事業】記念式典 講演会

入学式



創立 60 周年シンボルマーク

# 校長式辞

## 青春の心を持ち 新たな挑戦を

校長 高原 健治



ご卒業おめでとうございます。今、それぞれの道へ第一歩を踏み出そうとしている皆さんは、本校の校訓である「自主創造」「文武両道」「師弟同行」のもと、学業、部活動、そして顕桜祭などの学校行事、生徒会活動にと数多くの挑戦と努力を積み重ね、本日卒業を迎えることができました。心からお祝い申し上げます。

本学園は、今年度創立60周年という節目を迎えました。この記念すべき年に卒業される皆さんの歩んできた3年間は、本校が刻んできた60年という長い歴史の中にしっかりと位置付けられています。この間、本校は変化し続ける社会と共に歩みながら、生徒一人ひとりが自ら考え、行動し、未来を切りひらく力、「自主創造」の精神を育む場であり続けました。

校門を通るとすぐそこに、3年間皆さんを見守ってきた石碑があります。その石碑には、次のような言葉が刻まれています。

われの自覚この地に生じ  
わが青春このところにひらく  
三鴨山の樹々も声をあげよ  
佐野の河原の小石も叫べ  
母校は忘れがたい

これは、日本大学第7代総長高梨公之先生から創立25周年の記念に贈っていただいた言葉であります。

過去を振り返り、これからの未来を切りひらく上での道標となる言葉です。

「われの自覚この地に生じ」とは、自分がどのような人間であり、何を指すのかを見つめることです。皆さんが過ごしたこの学校生活では、学びや部活動、仲間との交流を通じて、自分自身を知る多くの機会があったはずで、その経験を基に、これからの社会で自分の役割や使命を見つけてください。自分を知り、自覚を持つことが、これからの成長と成功の第一歩となります。

また「わが青春このところにひらく」の青春とは、ただの時間の区切りではありません。それは、新しいことに挑戦し、成長を続ける心そのものです。これから皆さんが直面する社会は、予測できない変化と課題に満ちています。しかし、本校で培った挑戦と努力の経験が、どんな困難にも立ち向かう原動力となるはずで、青春の「心」を持ち続け、自分の可能性を信じ、新たな舞台で力

強く羽ばたいてください。

さらに「三鴨山の樹々も声をあげよ」「佐野の河原の小石も叫べ」とは、皆さんが社会に与える影響力を象徴しています。どのような道を歩むことになっても、本校で育まれた学びや価値観が、皆さんを輝かせる礎となります。そして自分自身を輝かせるだけでなく、他者や社会を支え、より良い未来を創る存在になることを願っています。

そこで、この石碑の言葉を踏まえて皆さんに3つの言葉を贈りたいと思います。

一つ目は、「自分を信じる力を持つ」ということです。石碑の言葉が示すように、自分自身の価値や可能性に気づき、自分を信じることが何より大切です。どんなときでも自分に秘められた無限の力を信じ、行動してください。

二つ目は、「人との繋がりを大切にすること」です。青春を本校で過ごした皆さんは、多くの仲間や先生方と支え合ってきました。これから先の人生でもその繋がりを大切に、感謝の心を持ち続けてください。そしてこれからも新たな絆を築いてください。

三つ目は、「挑戦を恐れない」ということです。新しいことに挑むことは、不安や困難を伴います。しかしその先にある成長や達成感、挑戦した人だけが得られるものです。自分の力を信じて、一歩を踏み出す勇気を持ってください。

卒業生の皆さん、これからの人生は未知の可能性と新たな挑戦に満ちています。本校で培った力や学びを胸に、自分らしい道を切りひらいてください。「三鴨山の樹々」も、「佐野の河原の小石」も、皆さんの成長と活躍を見守り、共に声をあげて応援してくれるはずで、そして、母校はいつでも皆さんを忘れることなく、温かく見守り続けます。

皆さんの未来が光り輝くものとなるよう心から願っています。



# ひか 輝る 佐日旋風

～ 部活動の活躍 ～

## ゴルフ部

**祝 全国大会出場決定!**



12月24日(火)・25日(水)、千葉県一の宮カントリー倶楽部にて開催された「関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会」において、男子4名・女子2名が上位の成績を残し、3月に兵庫県にて開催される全国大会への出場が決定しました。

## 剣道部

**祝 全国大会出場決定!**



2月1日(土)、ユウケイ武道館にて栃木県高等学校剣道新人大会が行われ、熱戦の末、見事優勝しました。またこの結果により、3月に愛知県で行われる全国高等学校剣道選抜大会への出場が決定しました。

## 硬式野球部

**祝 関東大会出場!**



10月6日(日)、宇都宮清原球場にて秋季栃木県高等学校野球大会の決勝が行われ、9-4で宇都宮工業高校を下し6年ぶり7度目の優勝を飾りました。県代表として出場した秋季関東大会では平塚学園高校と対戦し、打撃戦の末6-5で競り勝ちました。準々決勝では敗退しましたが、この大会で培った自信と悔しさを胸に、次の大会に向け日々練習に励んでいます。

## 国際理解弁論大会

**祝 全国大会出場決定!**



11月7日(木)、とちぎ青少年センターで栃木県高等学校国際理解弁論大会が開催され、白井ひなたさん(2年・結城・結城中)が優秀賞を受賞しました。またこの結果により7月に行われる「かがわ総文祭2025」への出場が決定しました。

## ダンス部

栃木県高等学校体育連盟ダンス新人大会 **準優勝**

## 美術部

人権に関するイラスト **優秀賞** 栃木県高校美術展デザイン部門 **奨励賞**  
吉岡 彩さん(2年・古河・古河第二中)

## 英語スピーチ

栃木県高等学校英語弁論大会 **第3位**

松原 純果さん(1年・壬生・南犬飼中)

## School Life 特集

2年生

### 研修旅行

#### 進学コース

12/6(金)～12/10(火) 福岡、長崎、広島、山口

#### 特別進学コース

12/7(土)～12/11(水) 佐賀、長崎、福岡

#### スーパー進学コース

12/8(日)～12/12(木) 福岡、長崎、広島、山口



◀ 研修旅行の様子は  
こちらから





# 創立 60 周年記念事業

*Fly to the future*  
～ 掴め青春～

## 創立 60 周年記念式典



長谷川理事長式辞



浦田名誉学園長 特別功労賞受賞

## 本学園の今はまさに「黎明」 新たな時代へ

10月19日(土)、プラザ40にて佐野日本大学学園創立60周年記念式典が挙行されました。長谷川理事長は式辞にて学園のこれまでを振り返りながら次のように述べました。

「(学園が) 遷暦を迎え、更なる新しい時代・文化の幕開けを迎えるにあたり、本学園の今を示す言葉は、まさに『黎明』であります。創立60周年を新たなスタートの年ととらえ、今年度を『佐日黎明期』とします。」

「新たなる挑戦をすることしか選択肢はありません。これからの学園の歴史をつくるのは、皆さんです。皆さんの無限に広がる可能性に期待と望みを託し、学園は歩んでまいります。本日ここに集う学生、生徒の皆さんとともに新しい時代を切りひらくことをお約束し、学園がさらに70年、80年、100年と未来永劫繁栄することを祈念し、本日の式辞とします。」(一部抜粋)

式辞の後、浦田奨名誉学園長に特別功労賞が授与されました。最後に、高等学校、短期大学、中等教育学校の代表者3名が誓いの言葉を述べました。

## 増田明美氏講演会

10月10日(木)、プラザ40にてスポーツジャーナリストであり大阪芸術大学教授の増田明美さんを講師に迎え、「自分という人生の長距離ランナー」という演題でご講演をいただきました。



## ストラットフォード ガールズグラマースクール 校長記念講演会

10月21日(月)、プラザ40にてイギリスのストラットフォードガールズグラマースクールとの姉妹校提携が更新され、コーネル校長よりご講演をいただきました。



## モルドバ共和国大使講演会

11月27日(水)、プラザ40にてモルドバ共和国ドゥミトル・ソコラン特命全権大使を講師に迎え、「Moldova: closer than you think!」という演題でご講演をいただきました。



## 陸上自衛隊第12旅団音楽隊コンサート

12月19日(木)、プラザ40にて陸上自衛隊第12旅団音楽隊のコンサートが予餞会を兼ねて開催されました。60周年にふさわしい、壮大なものとなりました。



## 編集 後記

パーティーを立て、黙食で昼休みを過ごした入学時からはや三年。生活も元に戻り、活気のある充実した学校生活をみんなで送ることができた。創立60周年を迎えた本学園とともに、青春の心を持ち、新たなる挑戦に立ち向かい、新しい時代を切りひらいていこう。卒業おめでとう! (広報佐野日大 編集委員一同)

## 広報佐野日大 VOL.240

佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555  
☎0283-25-0111(代) <https://high.sano-nichidai.jp/>